

留学体験レポート

21017092 中山 芽瑠

クラスについて

最初の1ヶ月はクラスのほとんどが日本人で同じ学校の友達とも一緒にクラスだったので分からないことがあれば聞くこともでき、休み時間も日本語での会話でした。心配なことはありませんでした。しかし、2ヶ月目からは様々な国の人と一緒に勉強することになります。クラスの数も多いため、一緒に行った学校の友達はみんなバラバラのクラスになり、最初は不安でいっぱいでした。もちろん韓国語だけの授業です。先生はゆっくりと分かりやすい韓国語で話してくれますが、聞き取ることも話すことも大変でした。分からないところを質問することも難しかったです。自信もなく休み時間にクラスメイトと会話することも難しかったので友達を作ることも最初は大変でした。しかし時間が経つにつれて自然と先生が話していることが簡単に聞き取れるようになりました。少しずつ自身もつき、休み時間にクラスメイトと話すことも楽しく感じるようになりました。アイドル好きな香港の子とは意気投合して、一緒にカラオケに行ったり、路上ライブを見に行ったり、コンサートにも行くほど仲良くなりました。同じクラスの子達と遊園地にも行き、帰国する前にも集まってくれたり、国籍の違いを心配していたクラスメイトでしたが、本当にたくさんの楽しい思い出を作ってくれました。とてもいいクラスメイト、友達にめぐり合うことができました。

トウミ制度について

韓国の大学では、トウミ制度というのがあり、留学生に韓国学生がサポーターとしてついてくれます。そして1週間に2時間会うという決まりがありました。そのため週に一度、夕飯を一緒に食べたりカフェに行く人が多かったです。トウミ一人に留学生二人や三人の人もいるという話を聞きましたが、私たちの学校から行った学生には一人にトウミ一人がついてくれました。私のトウミは日本留学をした経験があり、韓国語を少し話せる方でした。ですが私が韓国語を勉強しにきているため、なるべく韓国語で話そうとお願いしました。しかし韓国語で話すことはやはりとても難しく、最初は慣れない韓国語で2時間会話するだけでもとても疲れてしまい、会う前は少し緊張してしまったりして、上手くコミュニケーションを取ることができませんでした。しかしこれも時間が解決してくれました。帰国が近づくにつれて会話を聞き取ることができるようになり、会話が弾むようになりました。トウミからも最初に比べてとても自信がついたようだと言っていました。4ヶ月の間たくさんの美味しいお店や可愛いカフェにつれて行ってくださり、より充実した留学生活を送ることができました。

最後に、これから留学しようと考えている後輩に向けて、4ヶ月は長いようで、とてもあっという間に過ぎてしまいます。悔いのないように、思いっきり楽しんでほしいです。